

基本目標・重要業績評価指標（KPI）の現状値一覧（令和5年度）

I 圏域全体の経済成長のけん引

基本目標	指標	基準値(R2)	現状値(R5)	目標値(R8)
	圏域内総生産額	4兆7,026億円 (H30)	4兆5,597億円 (R3)	年平均成長率1.39% 以上 5兆2,517億円
	圏域内観光入込客数	19,043千人 (R1・暦年)	15,411千人 (R4・暦年)	23,000千人 (R8・暦年)

評価の基準

- ◎：現状値が目標値を達成している
- ：目標値に達していないものの、基準値に対し、上昇している
- △：目標値に達していないものの、基準値に対し、横ばいである（変動率±0.5%の範囲内）
- ×：目標値に達しておらず、基準値に対し、低下している
- －：事業の実施前等により評価不能

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(R2)	現状値(R5)	目標値(R8)	基準値に対する現状値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする	
						状況認識・要因分析等
①スタートアップ企業支援	拠点で開催されるイベント参加者数	1,800人	2,635人	2,000人	◎	各支援機関等との連携イベント等の増加もあり、イベント数・イベント毎参加者数ともに順調に推移している。継続して、関係市町と連携しながら、広報周知の取組を強化していく。
②中小企業の経営健全化・人材確保等支援	合同企業説明会への参加企業数	43社/年 (R1～R2)	52社	50社	◎	概ね予定どおり連携市町からの企業参加が得られ目標値を達成した。
	研修参加者人数	22人/回 (R1)	60人/回	30人/回	◎	令和4年度から、オンラインを活用し、ハイブリッド方式による開催としていることにより、令和5年度についても、目標値を大きく超える広範なエリアからの集客となり、効果があった。
③新規需要創出・喚起促進	PRセミナー参加者数	476人(累計) (H29～R2)	160人(累計) (R4～R5)	500人(累計) (R4～R8)	×	特に、関係市町の2市以外からの集客を増やせるよう、より広報の強化を図り、集客に取り組む。
④特産農産物PR	PRイベントへの延べ参加生産者数	13者 (R3)	21者	18者	◎	基準値を上回る数値となっており、特産農産物のPRに繋がっている。
⑤食品製造業見本市共同出展	見本市会期中の出展1社あたり平均商談件数	90件/年 (H30～R1)	72件	100件	×	来場者約2万7千人と昨年比で10%程度増加したが、ブース全体の商談件数としては昨年比で落ち込んだ。商談成立件数を含め、ある程度は年毎の出展企業のポテンシャル(製品/企業力)に依存する面もあるが、R4年に比較してノウハウの面でのサポートが不足していたものが要因の一部であると評価・分析している。次年度以降に向けては、共同出展企業がよりパフォーマンスを発揮出来るよう、商談件数や商談成立件数向上に向けたノウハウの面でのサポートの在り方を考えていきたい。
⑥圏域内周遊に向けた観光資源発信	圏域内観光入込客数	19,043千人 (R1・暦年)	15,411千人 (R4・暦年)	23,000千人 (R8・暦年)	×	新型コロナウイルスによる行動制限が緩和されたことにより、前年に比べて入込客数が大きく増加し、落ち込みからの回復傾向にある。
⑦岡山型穆斯林ツーリズムの推進	ムスリム観光客宿泊者数	1,812人 (R1)	1,489人	4,059人 (R7)	×	新型コロナウイルスが緩和され前年より回復傾向ではあるが、コロナ前の基準までは達することができなかった。
	公式SNSのフォロワー数	12,000人 (R3)	31,357人	24,000人 (R7)	◎	岡山地域の認知度向上のため、インフルエンサーを起用してのSNS発信や、現地旅行博で来場者にフォローを促したことにより、多くのフォロワーを獲得することができた。
⑧アートイベントの連携による情報発信	情報発信回数	5回 (R1)	2回/年	5回/年 (R4～R8)	×	瀬戸内国際芸術祭や岡山芸術交流など3年ごとに開催するアートイベントについては令和5年度の実施がなかったこともあり、基準を達成できなかった。

II 高次の都市機能の集積・強化

基本目標	指標	基準値(R2)	現状値(R5)	目標値(R8)
	JR岡山駅の乗降人数	13.9万人/日 (R1)	13.1万人/日	14.4万人/日

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(R2)	現状値(R5)	目標値(R8)	基準値に対する現状値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする	
						状況認識・要因分析等
⑨市街地再開発事業の促進	歩行者通行量(旧銀ビル前)	1,143人/日(休日) 658人/日(平日) (H30)	1,790人/日(休日) 583人/日(平日) (R6)	3,600人/日(休日) 2,100人/日(平日) (R6)	×	一定の事業効果は発現しているが、令和6年3月まで岡山市民会館及び岡山市立市民文化ホールが利用されていた事などの要因により、岡山芸術創造劇場の稼働率がまだ伸びていない。
⑩J Rの利用促進と駅機能強化	J R岡山駅乗降客数	13.9万人/日 (R1)	13.1万人/日	14.4万人/日	×	コロナ禍を経て、基準値(コロナ禍前)の94%にまで回復しており、各市町の施策実施も踏まえると、今後のさらなる利用増が期待される。
⑪岡山市と連携市町を結ぶ基幹道路ネットワークの整備	要望活動の実績回数	10回 (R3)	12回	10回以上/年 (R4~R8)	◎	適切な時期に要望を行った結果、目標値を達成することができた。

Ⅲ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

基本目標	指標	基準値(R2)	現状値(R5)	目標値(R8)
	圏域内市町の転入超過者数	57人 (R1)	▲966人	226人

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(R2)	現状値(R5)	目標値(R8)	基準値に対する現状値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする	
						状況認識・要因分析等
⑫高齢者見守りネットワーク連携	方針の決定	—	—	方針の決定 (R5)	—	—
⑬保育園等の広域入所	入所手続きに来る来庁回数が1回以内の相談者の割合	100%	100%	100% (R4~R8)	◎	昨年度と同様に、保護者へ確認する項目について、共通の様式を使用することにより、必要な事項の確認漏れを防ぎ、手続きの回数を減らしている。また、担当者会議で課題を洗い出し情報共有している。
⑭学校教育に関する情報共有	担当者会議の回数	1回	2回	2回/年 (R4~R8)	◎	全2回ともオンラインで担当者会議を実施し、特色ある取組や授業研究会等の情報共有をし、有意義な協議ができた。
⑮交流学习	交流学习の実施回数	2回	2回	2回/年 (R4~R8)	◎	オンラインでの交流と対面での交流を行った。県北山間部と県南海沿いの異なる環境の学校間での交流は、子ども達がそれぞれの自然の特色に触れ、体験的な学習を共に行うことで絆を深め、環境保全に対する意識を向上させることができた。
⑯夜間中学設置の検討・準備・運営	方針の決定	—	—	開設準備 (R5~R6)	—	—
⑰E S D実践	E S D・S D G s 研修会の参加者数	338人(累計) (H29~R2)	206人(累計) (R4~R5)	450人(累計) (R4~R8)	○	計画していた4回の研修の内、3回の実施となったが、年間目標の90人を達成することができた。
⑱岡山芸術創造劇場を活用した文化連携	施設整備	—	—	施設稼働 (R5)	—	—
⑲文学によるまちづくり推進事業	文学関係事業のPR回数	—	7回	7回/年 (R5~R8)	◎	文学イベントのチラシ等を相互に共有し、広域での情報発信が行えた。
⑳トップスポーツチームの支援	各チームのホームゲーム平均入場者数(4チーム計)	5,800人	12,269人	13,300人	○	新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、市民の観戦意欲やチームと連携したイベント等への参加意欲がコロナ前の状態に戻ってきたことから、基準値を上回ったものと考えられる。
㉑有害鳥獣対策研究	担当者会議の回数	2回/年 (H29~R2)	2回	2回以上/年 (R4~R8)	◎	各市町の現状・課題を共有して対策を考え、農作物被害の軽減・防止のための広域連携について研究した。
㉒森林機能の維持増進に関する研究	担当者会議の回数	—	1回	1回以上/年 (R5~R8)	◎	目標値の開催を行っており、関係市町及び関係者の情報共有が出来た。
㉓学生等による地域課題への取組	連携市町の課題に取り組むグループ数	—	4組(累計) (R4~R5)	5組(累計) (R4~R8)	○	連携市町の課題を紹介し、参加学生の活動内容とマッチングすることができ、毎年1組は連携市町の課題解決に取り組む目標を達成できた。
㉔風水害対応力の向上	施設整備	—	—	整備完了 (R6)	—	—

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(R2)	現状値(R5)	目標値(R8)	基準値に対する現状値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする	
						状況認識・要因分析等
㉕ごみ焼却処理相互支援	ごみ処理受入率	100% (H30)	—	100% (R4~R8)	—	—
㉖広域ごみ処理施設整備	施設整備	—	—	完工	—	—
㉗瀬戸内の海洋保全	清掃活動への参加者数	1,000人/年 (R3)	6,446人	1,500人/年 (R8)	◎	連携市町内での清掃活動実施数が増加し、目標値を上回る参加者となった。
㉘気候変動対策	共同実施する事業件数	1件 (R3)	5件	4件	◎	令和5年度は5件の共同事業を実施し、目標値を上回った。
㉙水辺教室等環境教育の推進	連携して行う自然体験行事数	1回	9回	6回	◎	数値目標を達成できており、事業の経過は良好である。
㊱路線バス等生活交通の維持・確保	主要バス路線利用者数	24,612人/日	29,874人/日	26,079人/日	◎	コロナ禍を経て、順調に回復しており、各市町の施策実施も踏まえると、今後のさらなる利用増が期待される。
㊲移住促進連携	移住定住支援により圏域内に移住した人数	400人	610人	600人	◎	新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、人の動きが活発になり、R4年度から相談をしていたケース等従前からの移住希望者が実際に移住を実行したため数値が伸びた。
㊳公共施設の相互利用の仕組み構築	住民一人あたりの図書館年間貸出冊数	6.1冊 (R1)	5.6冊	6.2冊 (R8)	×	コロナ禍以降の貸出数の回復が一旦止まってしまった形となったが、相互利用自体の貸出数は増えており、R6年度は、美咲町中央と瀬戸内市長船が移転開館したため、新しい図書館もPRしながら利用を伸ばしたい。
	子どもパスポート掲載施設の利用者数(利用者数を把握していない2施設を除く。)	1,195,144人/年	2,114,421人	2,000,000人/年	◎	新型コロナウイルス感染症の5類への移行などにより、外出する人が増加し、入場者数も増加した。
㊴包括連携協定に基づく公民連携	連携中枢都市圏を対象とする協定の締結・改訂数	—	1件(累計) (R4~R5)	5件(累計) (R4~R8)	○	新たに協定締結したり、内容を変更したものはなかった。
㊵市民協働事業の推進	市民協働事業への参加者数	157人/年 (H29~R2)	480人(累計) (R4~R5)	800人(累計) (R4~R8)	○	新型コロナウイルスが終息し、連携市町によるコーディネーター派遣の活用が数値の上昇に大きく影響した。
㊶外部専門人材の活用	研修会等実施回数	—	16回(累計) (R4~R5)	5回(累計) (R4~R8)	◎	令和5年度は、前年度に相談会を開催したDX分野に加え、脱炭素、戦略的広報活動、データ利活用分野でも研修会等を実施し、8市町が活用した。
㊷人事交流・育成	圏域内市町職員を対象とする研修実施回数	6回	6回	6回/年 (R4~R8)	◎	受講者のアンケートや近年の動向を踏まえ、市職員として求められる能力を習得できる研修を企画し研修計画の見直しを行ったことにより、参加者数を確保し目標の回数を実施できた。
㊸圏域データ等の活用	研修参加人数	55人 (R1)	44人	60人/年 (R4~R8)	×	外部講師を招き、内容も毎年度同じものにならないよう更新し、開催方法も参加しやすいよう工夫(一部をハイブリッド開催)しているが、参加者が減少しているため、さらなる内容の検討が必要。
㊹パートナーシップ宣誓制度の導入促進及び都市間相互利用	情報交換会の回数	3回 (R3)	3回	3回/年 (R4~R8)	◎	数値目標を達成できており、事業の経過は良好である。

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(R2)	現状値(R5)	目標値(R8)	基準値に対する現状値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする	
						状況認識・要因分析等
③⑨行政サービス提供機能の最適化	研修参加者人数	—	51人(累計) (R4~R5)	80人(累計) (R4~R8)	○	R5は研修会を3回開催した。岡山市の取組だけでなく参加市町の事例紹介や外部講師による研修を行い、情報共有を図った。R6は引き続き複数回の開催を予定しており、参加市町に対して内容に応じて積極的な参加を呼びかけることとしている。
④⑩外国人コミュニケーション支援	方針の決定	—	—	方針の決定 (R5)	—	—
④⑪公共施設の質・量の適正化に向けた仕組み構築	「見える化」事業数	1事業	2事業	3事業	○	スポーツ施設と文化施設を紹介するホームページを更新し、チラシを配布した。
	瀬戸内市新火葬場(仮称)施設整備	—	—	施設稼働 (R7)	—	—